

川崎重工業株式会社

No.2026033

2026年6月3日

郡山市富久山クリーンセンターにおいて、 当社初となるごみ焼却の燃焼排ガスを対象とした CO₂分離回収実証試験を開始

川崎重工は、「郡山市と川崎重工業株式会社とのごみ処理施設から発生する排ガスを対象とした CO₂分離回収技術の実証試験実施に関する協定書」に基づく、「Kawasaki CO₂ Capture (KCC)」^{※1}を適用した CO₂分離回収技術の実証試験設備（以下、本設備）を完成させ、このほど実証試験を開始しました。これを記念し、本日、郡山市関係者列席のもと、完成披露式典を執り行いました。



当社と郡山市は 2023 年度から、KCC のごみ焼却施設排ガスへの適用性を評価するため、基礎試験や評価試験を進めてきました。これらの試験結果を踏まえ、2025 年 11 月に富久山クリーンセンター内で本設備の建設を開始し、2026 年 5 月に完成しました。

完成後の実証試験では、ごみ焼却施設から出る実際のごみ焼却排ガスを回収しながら、CO₂分離回収技術の運用面・設備面での課題を抽出し、それらの解決に向けた検討を進めていきます。なお、ごみ焼却の燃焼排ガスを対象とした CO₂分離回収技術の実証としては、当社初となります。

また当社は、郡山市、エア・ウォーター東日本株式会社、東部ガス株式会社、日東紡績株式会社と共に、「資源循環及び脱炭素化の推進に関する連携協定」を締結し、回収した CO₂ を資源として活用する「郡山モデル」の実現に向けた取り組みも進めております。

当社は今後も、アミン担持吸着剤を用いる当社独自の KCC 技術をさらに高度化することで、PCC^{※2} および DAC^{※3} の大規模な事業展開を加速し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

※1 : CO₂分離回収技術 <https://www.khi.co.jp/energy/co2sr/>

※2 : Post-Combustion Capture の略。排ガスに含まれる CO₂の分離回収技術。

※3 : Direct Air Capture の略。CO₂濃度の低い大気中からの CO₂分離回収技術。大気からの CO₂を回収して貯留や材料に固定化することでネガティブエミッションを実現する

【参考リンク】

国内初、ごみ焼却施設の排ガスから固体吸収法で CO₂を分離・回収する技術の共同実証に合意
(2023年2月10日)

https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20230210_5.html

新開発の低濃度 CO₂分離回収技術の実証設備を神戸工場内に整備 (2025年7月14日)

https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20250714_1.html

郡山市におけるごみ焼却施設から排出される CO₂を活用した資源循環及び脱炭素化の推進に関する連携協定を締結 (2025年8月20日)

https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20250820_1.html

以 上